




令和元年度香南市人生支援計画数値目標及びKPI評価書

(令和元年10月末実績)

数値目標(KPI)に対する評価方法と基準

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により4段階評価で実施

区分	評価基準
	数値目標(KPI)の達成済または達成可能
	数値目標(KPI)の進捗が概ね順調
	数値目標(KPI)の進捗に遅れが生じている
*	目標を持つことが不適切

幼年期 … P2 ～ P5
 就学期 … P6 ～ P10
 成年期 … P11 ～ P16
 熟年期 … P17 ～ P19
 高齢期 … P20 ～ P23

人生の期別	幼年期(生まれてから小学校就学前)						
基本方針	誰もが安心して子どもを育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。 また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを推進します。						

★目標 妊産婦の安心で安全な環境づくりの推進

1	パパママ教室参加率	基準値	実績値					R1評価(C)	妊産婦支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		12.6%	14.3%	18.2%	11.5%	20.8%	19.6%		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	△	12.6%	12.8%	13.0%	13.2%	13.4%	13.6%	子ども・子育て支援計画
	年度ごとの達成(評価)	△	A	A	B	A	4年間の達成度合 →		A
事業内容(D)	◆年に3回、妊娠中の生活、出産について、呼吸法、妊婦体操他、妊娠中と授乳期の食生活、妊娠中の歯の健康などを開催し、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。								
現状と課題(C)	1日1回コースから半日3回コースに変更。対象者のうち第一子出産予定者は46.9%で、そのうちの35.8%が参加している。夫の参加は67.9%である。			今後に向けた具体的な取組(A)		総合子育て支援センター移行後は半日コースを3回に変更して実施。内容も産後の妊婦体操・乳房ケアを入れて実施。来年度はアンケートを元により良いものに吟味していく。			
2	母子健康手帳交付数	基準値	実績値					R1評価(C)	妊産婦支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		242人	230人	237人	231人	212人	130人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	△	226人	229人	231人	234人	237人	240人	香南市人ロビジョン
	年度ごとの達成(評価)	△	A	A	A	B	4年間の達成度合 →		A
事業内容(D)	◆母子健康手帳を健康対策課で交付している。他の配布物は、母子保健サービス一覧、各種パンフレット、一般健康診査受診票(妊婦14枚・乳児2枚)、新生児聴覚検査受診票								
現状と課題(C)	妊婦全員に面接することができており、妊娠・出産・育児に関する不安や困りごとに対する総合相談窓口として周知ができています。			今後に向けた具体的な取組(A)		健康対策課で妊婦全員に面接、交付を継続する。			

★目標 親と子の心と体の健康づくり

3	新生児・乳児家庭訪問対応割合	基準値	実績値					R1評価(C)	新生児・乳児訪問
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		97.7%	98.0%	99.2%	98.1%	97.5%	98.8%		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	△	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	子ども・子育て支援計画
	年度ごとの達成(評価)	△	B	B	B	B	4年間の達成度合 →		B
事業内容(D)	◆生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を保健師が訪問し、子どもの発達状況や母親の健康状態を確認し、育児不安の解消と、乳児家庭の孤立化を防ぎ、必要な支援につなげ、乳児の健全な生育環境の確保に努める。								
現状と課題(C)	新生児期には長期入院や里帰り等で訪問できていない家庭があるが、生後4カ月までにはほぼ訪問できている。訪問できなかった家庭には来所等で面談し、全数把握はできている。			今後に向けた具体的な取組(A)		産後早期に訪問し、保護者の不安や困りごとの解決に向けた支援を継続する。			
4	育児相談利用者数(延)	基準値	実績値					R1評価(C)	育児相談・母乳相談・離乳食講習会
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		269人	288人	292人	303人	277人	-		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	△	263人	266人	269人	272人	275人	278人	子ども・子育て支援計画
	年度ごとの達成(評価)	△	A	A	A	A	4年間の達成度合 →		A
事業内容(D)	◆育児相談・母乳相談を月1回開催。発達状態、母親の健康状態、育児の様子などから育児不安の軽減を図り必要な支援に繋げる。母親同士の交流を深め、孤独育児の軽減に繋げる。離乳食講習会は、3,4カ月児の保護者を対象に隔月で開催し、発達に応じた離乳食の進め方や素材の味を生かした調理方法など、講習会を通じて離乳食全般を支援する。								
現状と課題(C)	育児相談としての方向性は、同じ悩みを持つ母親同士の仲間づくりを意識した専門職の関わり方を考慮し総合子育て支援センター内で実施していく。(保健センターでの実施は8月まで終了し、9月からは総合子育て支援センター内に移行。)参考:8月末実績52人			今後に向けた具体的な取組(A)		総合子育て支援センターの開設に伴い、これまでの育児相談の実施方法は終了。→目標設定変更予定。来年度以降の取り組みはこれから課内で検討していく。			

	基準値	実績値						R1評価 (C)	子育て支援	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	こども課
5	育児教育相談利用者数(延)	561人	697人	545人	491人	723人	241人		【設定根拠】 第2次香南市振興計画 (前期計画)	
	年度ごとの到達目標値(P)		562人	562人	562人	562人	562人	562人		☹️
	年度ごとの達成(評価)		A	B	B	A	4年間の達成度合 ⇒			
事業内容(D)	◆教育相談を月1回、ほのぼの相談を月8回程度開催。 さまざまな悩みや不安を抱えている就学前保護者を対象に教育相談(子ども相談室)、小中学校保護者を対象にほのぼの相談を行っている。									
現状と課題(C)	前年度の同時期に比べ、教育相談の利用者が少ない。(H30:51人、R1:31人)悩みはあるものの、相談窓口があることを知らない、あるいはよくわからないという保護者もいると考えられる。			今後に向けた具体的な取組(A)			教育相談を利用することへのハードルを下げるために、保育所や幼稚園、総合子育て支援センター「にこなん」といった保護者の支援に携わる施設において、保護者から相談を受けた場合、必要に応じて教育相談の紹介を行っていきととも、施設職員を中心に、窓口を知らない方への周知も積極的に行っている。また、総合子育て支援センターでは、これまでの子育て相談に加えて、子ども発達相談など充実させ支援を継続する。			

★目標 子どもと子育て家庭に優しい環境づくり

	基準値	実績値						R1評価 (C)	子育て支援	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	こども課
6	地域子育て支援センター利用者数	4,010人	4,811人	4,542人	9,733人	8,436人	6,872人		【設定根拠】 子ども・子育て支援計画	
	年度ごとの到達目標値(P)		4,600人	5,200人	5,800人	9,000人	9,000人	9,000人		☺️
	年度ごとの達成(評価)		A	B	A	B	4年間の達成度合 ⇒			
事業内容(D)	◆5カ所の子育て支援センターでは、妊婦や0歳から就学前の子どもと保護者等を対象に、育児相談や交流の場の提供、子育て関連情報の提供などの子育て支援を行っている。また、2カ所の幼稚園では、月2回園庭を解放して、就学前の子どもと保護者の交流の場の提供や育児相談などの子育て支援を行っている。 ◆保健師との連携により、健診等で気になる親子への支援センター利用を促し、親子が孤立したりしないように、いつでも相談できる支援者の存在を知ってもらう。 ◆子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成。また、ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供していく。									
現状と課題(C)	総合子育て支援センターは平成31年4月に完成し、愛称「にこなん」として、同年7月に開所した。10月末現在の利用者数は、児童数2,292人、保護者数2,196人(うち父親87人)、総利用者数4,488人で、病後児保育施設の利用児童数は5人となっており、児童と父親が一緒に利用するケースが増えるなど順調に伸びている。			今後に向けた具体的な取組(A)			就学前の保護者の子育てに対する不安感や悩みを軽減し、子育てに活かしていただけるよう、妊娠から出産、育児まで、関係機関と連携しながら切れ目のない子育て支援を目指す中で、にこなんを拠点とした相談体制の拡充や病後児保育などサービスを充実させることにより利用者の増加を目指す。			

	基準値	実績値						R1評価 (C)	子ども一時預かり数(延)	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	こども課
7	保育所の一時預かり数(延)	826人	1,001人	977人	1,217人	1,229人	782人		【設定根拠】 人口ビジョン	
	年度ごとの到達目標値(P)		838人	838人	838人	838人	838人	838人		☺️
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒			
事業内容(D)	◆保護者の病気等により、家庭において一時的に保育することが困難になった、満1歳から就学前までの子どもの一時預かりを3保育所(赤岡、香我美おれんじ、夜須)で実施している。利用日数は週3日を限度とし、出産・入院中は限度日数について相談に応じる。									
現状と課題(C)	利用希望者のニーズに応えられている。			今後に向けた具体的な取組(A)			ニーズが増加しているため職員配置を見直し、受け入れ体制を整えていきととも引き続き利用者の増加を目指す。			

	基準値	実績値						R1評価 (C)	子育て支援 こども課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
市のHP(子育て情報サイト)へのアクセス数	-	-	1,826回	4,328回	6,031回	5,578回		☺ 【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 H33年度末目標数値	
年度ごとの到達目標値(P)	/	-	3,000回	4,000回	5,000回	6,000回	6,000回		
年度ごとの達成(評価)	/	-	B	A	A	4年間の達成度合 ⇒			A
事業内容(D)	<p>◆5カ所の子育て支援センターでは、妊婦や0歳から就学前の子どもと保護者等を対象に、育児相談や交流の場の提供、子育て関連情報の提供などの子育て支援を行っている。また、2カ所の幼稚園では、月2回園庭を解放して、就学前の子どもと保護者の交流の場の提供や育児相談などの子育て支援を行っている。</p> <p>◆保健師との連携により、健診等で気になる親子への支援センター利用を促し、親子が孤立したりしないように、いつでも相談できる支援者の存在を知ってもらおう。</p> <p>◆子育て支援の各種行政サービスや地域の子育てに関する情報を冊子にまとめた「香南市子育てガイドブック」を作成。また、ホームページで子育て情報を発信し、合わせて、登録した子育て世帯へメール配信等で、各種健診や予防接種、育児学級など子育てに関するタイムリーな情報も提供していく。</p>								
現状と課題(C)	メルマガの配信内容に「エプロンだより」と「すこやか通信」を追加することにより登録者数の増加につながった。		今後に向けた具体的な取組(A)			多くの場面で今まで以上に啓発活動に努めるとともに、関連する部署と連携し内容の充実を図る。メルマガ配信内容の工夫を図るとともに、スマートフォンアプリ等の情報発信ツールの検討を図り、ユーザーにマッチした情報発信に取り組む。			

	基準値	実績値						R1評価 (C)	こども一時預かり こども課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
こうなんファミリーサポートセンター会員数	-	-	42人	56人	74人	81人		☹ 【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 H33年度末目標数値	
年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	50人	80人	110人	130人		
年度ごとの達成(評価)	/	-	-	A	B	4年間の達成度合 ⇒			B
事業内容(D)	<p>◆子育て中の家庭を支援するため、子育ての援助をしてほしい会員(おねがい会員)と、子育ての応援ができる会員(まかせて会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。 R1目標110人(内訳:おねがい会員60人、まかせて会員50人)</p>								
現状と課題(C)	令和元年10月末現在 おねがい会員49人 まかせて会員31人 両方会員1人 合計81人 活動回数219回 共働き家庭などのニーズは高まっているが、ボランティアのなり手が不足しており、会員数は伸び悩んでいる。		今後に向けた具体的な取組(A)			社会福祉協議会と協働し、保護者や会員へのアンケート調査の実施及び他市の取組を参考に取組を進める。令和2年4月より公共施設(にこにこルーム及びにこなん)で利用できるように、利用にあたってのさまざまな条件整理及び手順書作成など準備を進める。			

★目標 質の高い保育・教育の推進

	基準値	実績値						R1評価 (C)	本の読み聞かせ、 乳幼児検診 こども課・健康対策課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
本の読み聞かせ回数	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)18 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)8 (健)10		☹ 【設定根拠】 【こ】外部講師による活動のみ抽出(月2回の計画) 【健】10ヵ月相談年間回数	
年度ごとの到達目標値(P)	/	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12	(こ)24 (健)12		
年度ごとの達成(評価)	/	A	B	A	A	4年間の達成度合 ⇒			A
事業内容(D)	<p>◆各保育所・幼稚園では、外部講師による読み聞かせ(就学前読書活動)を行っている。【こ】各園で2回実施。(園の規模により増減があり)</p> <p>◆10ヵ月相談時にボランティアの協力を得て、親子のふれあいの促進と乳幼児期から絵本に親しみ、読み聞かせの大切さの啓発をし、受診者には絵本を1冊贈呈(ブックスタート事業)する。【健】</p>								
現状と課題(C)	(こ)各保育所・幼稚園の子どもの実態に沿った内容と若年保育者への支援などを考慮しながら充実を図る。支援の具体的な内容としては、外部講師による読み聞かせ活動での保育者の学びや年毎の絵本リストをもとに、若年保育者に対して保育に絵本を取り入れることの大切さを伝え、実践を支援している。		今後に向けた具体的な取組(A)			(こ)子どもの興味・関心に沿った選書や読み方など保育者の資質向上を目指す。 (健)10ヶ月相談で絵本の配布、読み聞かせの大切さの啓発を継続実施。			

	本の読み聞かせ回数	基準値		実績値				R1評価 (C)	本の読み聞かせ	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	生涯学習課
11		-	-	-	85回	102回	75回		☹️	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画 H33年度末目標数値
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	100回	100回	100回	100回		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	B	A	4年間の達成度合 ⇒			A
	事業内容(D)	◆読書ボランティア団体の支援も受けながら、積極的な読み聞かせを実施している。また、イベント時には大型スクリーンや音響設備を使っ ての読み聞かせを行うことで、参加者の興味をひく工夫を行っている。 野市図書館：週2回→(R1.10から)週1回に変更、香我美図書館：月1回、夜須図書館：未実施								
	現状と課題(C)	令和元年10月末現在：75回 読み聞かせボランティア集団の育成につながっている。 各図書館での定例での実施に加え、イベント等でも 実施中。 (課題)定期開催時の更なる参加者増のために、告 知方法等の見直しが必要。			今後に向けた 具体的な取組(A)		紙芝居や絵本作り教室を通じて機運の向上を図る。更 に、外部講師招聘によるパネルシアター実施も検討して いく。			
	朝食摂取割合(3歳児)	基準値		実績値				R1評価 (C)	食育の推進	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	健康対策課
12		94.7%	95.3%	94.7%	96.6%	93.9%	96.4%		☹️	【設定根拠】 食育推進計画
	年度ごとの到達目標値(P)	/	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%		
	年度ごとの達成(評価)	/	B	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒			B
	事業内容(D)	◆保育所・幼稚園では、食べる楽しさや食べ物のおいしさを知り、生活リズムの基礎や正しい食習慣を身につけ、食を楽しむ心を育てるよう な事業を実施し、子育て支援センターでは、食育講演会や試食等を通じて食を楽しむ心を育んでいる。 ◆家庭や保育所、幼稚園と連携した食育の取組み、食べることの楽しさや食への関心を高め、食を通じた体験などで食を楽しむ心を育てる ことの大切さを啓発する。また、幼児期からの望ましい生活習慣の改善に向け子どもの保護者向けに乳幼児健診等でのアドバイスを行って いる。 ◆幼児健診時のアンケート調査で朝食を食べない日が週のうち1~2回ある子ども(3歳児)の割合を算出。								
	現状と課題(C)	週のうち1~2回食べない3歳児の割合が毎年約5%程度お り、多いと感じている。ライフスタイルの多様化もあり、料理 の機会や経験が少ない親が増えているため、そこに対しての 意識付けが課題。 総合子育て支援センターにおいて栄養相談を実施。			今後に向けた 具体的な取組(A)		保育・幼稚園等と連携した食育事業、乳幼児健診での指導、総合 子育て支援センターでの栄養相談を継続。 その中で朝食について重点的に、生活リズムを含めた更なる啓発 を行う。			
★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり										
	ひとり親家庭医療費 助成利用者数	基準値		実績値				R1評価 (C)	ひとり親家庭へのサポート	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2	市民保険課
13		809人	832人	740人	700人	677人	664人		* * *	【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	-	-		
	年度ごとの達成(評価)	/	*	*	*	*	4年間の達成度合 ⇒			*
	事業内容(D)	◆ひとり親家庭医療費助成事業：配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市 単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給：DV被害者など児 童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期ショートステイ：子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学資金貸与(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦 (夫)控除のみなし適用を実施する。								
	現状と課題(C)	/			今後に向けた 具体的な取組(A)		福祉事務所と連携を取りながら、窓口及び広報紙での周 知活動に取り組む。			

人生の期別	就学期(小学校から高校)
基本方針	豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。 また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

★目標 豊かな人間形成を育む環境づくり

14	スポーツ少年団の団体数	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		26団体	27団体	26団体	27団体	26団体	27団体		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		26団体	26団体	27団体	28団体	28団体	28団体	教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	B	4年間の達成度合 ⇒		B
事業内容(D)		体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。							
現状と課題(C)		少子化が進む中、数あるスポーツ種目をほぼ網羅しておりニーズは満たされている。統合により団体減少(岸本バレーボール)があった。			今後に向けた具体的な取組(A)		レスリングなど新たな競技種目での新規設立などを進めるとともに、団体が継続して活動できる環境づくりとして体育館など活動場所や指導者などの確保を行う。		
15	スポーツ少年団の会員数	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		598人	597人	543人	518人	532人	521人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		580人	580人	600人	610人	620人	630人	教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの達成(評価)		A	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B
事業内容(D)		体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。							
現状と課題(C)		少子化や余暇活動の多様化等で会員数の減少が懸念される。			今後に向けた具体的な取組(A)		関係団体等の広報活動やスポーツ推進委員等の協力を得て、団体のPRを行っていく。		
16	夏休みこども教室の開催	基準値	実績値					R1評価 (C)	夏休みこども教室
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		24回	21回	25回	25回	25回	29回		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		21回	22回	23回	24回	25回	25回	教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A
事業内容(D)		◆学校以外での子どもの学習・体験活動の機会の創出・拡充のため各公民館で主に小中学生対象の夏休み教室を開催している。							
現状と課題(C)		香南市中央公民館15回199人、夜須公民館9回123人、香我美市民館5回36人。関心の高い内容に応じて教室内容を設定しており、ミニ四駆作り教室、クッキング教室などを行っている。			今後に向けた具体的な取組(A)		ハーバリウム教室、各種料理教室、陶芸教室など人気がある教室の複数開催をめざす。		
16 参考	夏休みこども教室の開催 (参加人数)	基準値	実績値					R1評価 (C)	夏休みこども教室
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		348人	327人	391人	433人	381人	358人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		290人	290人	300人	300人	310人	310人	教育振興基本計画後期計画
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A
事業内容(D)		◆学校以外での子どもの学習・体験活動の機会の創出・拡充のため各公民館で主に小中学生対象の夏休み教室を開催している。							
現状と課題(C)		香南市中央公民館15回199人、夜須公民館9回123人、香我美市民館5回36人。関心の高い内容に応じて教室内容を設定しており、ミニ四駆作り教室、クッキング教室などを行っている。			今後に向けた具体的な取組(A)		ハーバリウム教室、各種料理教室、陶芸教室など人気がある教室の複数開催をめざす。		

★目標 子ども・親・家庭に優しい環境づくり

17	児童クラブの利用者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	共働き夫婦のための 子育て支援 こども課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		330人	336人	359人	375人	370人	388人			☺ 【設定根拠】 教育振興基本計画
年度ごとの到達目標値(P)		320人	340人	385人	385人	385人	385人			
年度ごとの達成(評価)		A	A	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B		
事業内容(D)		◆児童クラブを5小学校で実施し、共働き家庭等の児童(1~6年生)を放課後から18時まで預かっている。 ◆子育て中の家庭を支援するため平成28年度よりファミリー・サポート・センターを開設し、育児の支援をしてほしい人のマッチングを行い、会員相互での育児支援を行う。								
現状と課題(C)		野市小学校及び香我美小学校では定員を超える受入を行っているにも関わらず、待機児童が発生しているため、その解消を図るために、新たな施設整備が必要。			今後に向けた 具体的な取組(A)			野市小学校及び香我美小学校での新たな施設整備に向けて、令和元年度は設計、令和2年度は建築工事を行い、令和3年度からの運用を目指す。		

★目標 親と子の心と体の健康づくり

18	親子料理教室開催数	基準値	実績値						R1評価 (C)	食育の推進 学校教育課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回		☺ 【設定根拠】 各学校でも実施しており 全体では年1回開催
年度ごとの到達目標値(P)		1回	1回	1回	1回	1回	1回			
年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A		
事業内容(D)		◆親子料理教室、食育講習会等により正しい食生活や食を楽しむ心を育成。								
現状と課題(C)		リピーターも多く、応募者総数は増えている。しかし、正しい食生活や食を楽しむ心を、関心の薄い家庭にどのように啓発するかが課題である。			今後に向けた 具体的な取組(A)			チラシを配布することに加え、栄養教諭等からの声がけなどを通して、参加してほしい家庭にアピールし、食への関心を高める機会を更に増やす。		

19	朝食摂取割合(小学生)	基準値	実績値						R1評価 (C)	食育の推進 学校教育課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		95.4%	95.9%	95.0%	95.1%	95.0%	94.2%			☺ 【設定根拠】 食育推進計画
年度ごとの到達目標値(P)		96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%			
年度ごとの達成(評価)		B	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B		
事業内容(D)		◆香南市全ての小学5年生を対象にした朝食づくり料理教室を開催し、朝食の効果や大切さなどについて学ぶことにより、朝食摂取や内容の改善に向けて意識の向上を図る。								
現状と課題(C)		小学校、学校教育課、健康対策課、食生活改善推進協議会と連携し、小学校5年生朝食づくり事業を実施。栄養バランスの取れた朝食を自ら考え摂取する実践的な児童の育成及び児童を通じて家庭にどのような方法で啓発していくかが課題である。			今後に向けた 具体的な取組(A)			朝食摂取の改善を図るため、副読本の活用や保健だより・学校だより等の通信を活用して、家庭へ啓発を図る。給食指導を通して、栄養教諭から児童に朝食の大切さについて伝える。		

★目標 学校と地域の連携による教育環境づくり

20	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(小学校)	基準値	実績値						R1評価 (C)	社会とのつながり意識 を高める推進 (全国学力学習状況調査) 学校教育課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
		67.0%	70.8%	89.4%	91.4%	98.4%	88.8%			☺ 【設定根拠】 全国学力学習状況調査 小学6年生が対象
年度ごとの到達目標値(P)		65.0%	66.0%	86.5%	87.0%	87.5%	90.0%			
年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A		
事業内容(D)		◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。) ◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力をを行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。								
現状と課題(C)		昨年度よりポイントは減少しているが、これまでの取り組みの積み上げから目標値を達成しており、キャリア教育の成果が表れていると思われる。			今後に向けた 具体的な取組(A)			基本的な生活習慣の確立・学力の向上・社会性の育成など、キャリア教育のねらいに沿った取組を今後も推進する。地域学校協働本部事業の拡大や土曜授業の活性化を図り、地域ぐるみ教育を推進する。		

21	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(中学校)	基準値	実績値					R1評価(C)	社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		52.1%	44.7%	74.1%	75.0%	74.7%	76.8%		【設定根拠】 全国学力学習状況調査 中学3年生が対象
	年度ごとの到達目標値(P)		51.0%	52.0%	75.5%	75.5%	76.0%	76.0%	
年度ごとの達成(評価)		B	A	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B	
	事業内容(D)	<p>◆地方自治の仕組みや地域活動の重要性、社会全般での生きる力等の教育の推進を行う。(各校におけるキャリア教育の推進と児童生徒の市民としての社会性を育む教育の推進。)</p> <p>◆地域学校協働本部事業により、学校・家庭・地域が連携し、学校の応援団として教育活動支援や環境整備への協力を行い、また、土曜授業の開催を活用して学校の教育活動への理解を深め、その協力や参加によって、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを推進する。</p>							
	現状と課題(C)	目標値に達することができた。小学校より積み上げてきている取組が成果として表れてきており、職場体験学習等を通して自己の将来や社会に関する意識の向上につながっていると考えられる。			今後に向けた具体的な取組(A)		社会の一員であること意識や社会貢献への意識を高めることを目指し、職場体験学習や「総合的な学習の時間」の更なる充実を推進する。地域学校協働本部事業の拡大や土曜授業の活性化を図り、地域ぐるみ教育を推進する。		
22	地域学校協働本部設置数	基準値	実績値					R1評価(C)	地域こども見守り体制
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		4校	4校	5校	6校	7校	11校		【設定根拠】 教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの到達目標値(P)		4校	5校	6校	7校	8校	11校	
年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
	事業内容(D)	<p>◆要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議、実務者会議、地域支援者会議、個別ケース検討会議の4層構造により登録ケースについては関係機関と連携して総合的な対応を行っている。</p> <p>◆PTAや地域学校協働本部事業などで、保護者や地域の方とあいさつ運動や交通指導などに取り組むとともに、県のスクールガードリーダー活用事業でスクールガードリーダーの見守り活動を実施する。</p> <p>◆青色回転灯パトロールによる登下校時の見守り活動を行う。</p> <p>◆学校支援活動を年間累計100日以上を目指し、充実した学校支援活動を各学校に定着させる。</p>							
	現状と課題(C)	各学校とも、地域の人材を積極的に活用している。地域学校協働本部事業を実施している延校数は、目標値を達成した。今後も、地域人材を活用するシステムを学校づくりに活かす。			今後に向けた具体的な取組(A)		地域学校協働本部によるボランティア活動を、子ども見守り体制に活かす。地域ボランティアを募集し、住民による学習支援・部活動支援・見守り活動・地域活動への支援を呼び掛ける。		
★目標 すべての子どもの成長を保障する環境づくり									
23	不登校児童生徒の発生率(小学校)	基準値	実績値					R1評価(C)	不登校と引きこもり児童の支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		1.33%	1.51%	0.95%	1.40%	0.62%	未定		【設定根拠】 高知県の発生率
	年度ごとの到達目標値(P)		-	-	0.9%以下	0.8%以下	0.7%以下	0.5%以下	
年度ごとの達成(評価)		-	-	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*	
	事業内容(D)	<p>◆家庭における児童療育の技術に関すること及び児童にかかわる家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することの相談指導を行う。</p> <p>⇒(児童生徒は森田村塾で受け入れている)</p> <p>◆子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。</p>							
	現状と課題(C)	年度末集計でないと実績を捉えることができない。不登校児童を無くすという課題は、解決には至っていない。継続的な取組が必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)		香南市全ての小学校で「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施し、新規の不登校児童が出ないように未然防止に取り組む。SSWやSCを有効的に活用し、学校・家庭・関係機関の連携強化を図り、学校や森田村塾への登校につなげる。		

24	不登校児童生徒の発生率 (中学校)	基準値	実績値					R1評価 (C)	不登校と引きこもり児童 の支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
		5.29%	5.29%	6.38%	4.92%	5.41%	未定		【設定根拠】 高知県の発生率
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	5%以下	4.5%以下	4%以下	3.5%以下	
年度ごとの達成(評価)	/	-	-	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*	
事業内容(D)	<p>◆家庭における児童療育の技術に関すること及び児童にかかわる家庭の人間関係に関すること、その他家庭児童の福祉に関することの相談指導を行う。 →(児童生徒は森田村塾で受け入れている) ◆子どもをとりまく環境に働きかけ、関係機関と連携し、支援を充実する。</p>								
現状と課題(C)	年度末集計でないと実績を捉えることができない。不登校生徒を無くすという課題は、解決には至っていない。継続的な取組が必要である。			今後に向けた具体的な取組(A)			全中学校で「魅力ある学校づくり調査研究事業」を活用し、教員の同僚性・関係機関の連携等をいかした取組を推進する。SSWやSCを有効的に活用し、学校・家庭・関係機関の連携強化を図り、学校や森田村塾への登校につなげる。		
25	スポーツ大会開催数 (小中高校生対象)	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
		3回	3回	3回	5回	4回	5回		【設定根拠】 市長杯等大会
	年度ごとの到達目標値(P)	/	3回	3回	3回	3回	3回	3回	
年度ごとの達成(評価)	/	A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
事業内容(D)	<p>体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。 (生涯スポーツのきっかけとなる小中高校生を対象としたスポーツ大会の開催及び支援) ※野球、サッカー(小中)の3大会参加者数は、H26:1050人、H27:1047人、H28:1014人、H29:1110人、H30:183人(サッカー大会荒天中止)</p>								
現状と課題(C)	野球、サッカー、相撲の大会を開催、または支援するほか、スポーツ振興委託事業として各種教室の開催を予定どおり実施できている。			今後に向けた具体的な取組(A)			現行大会について関係団体等を通じて周知を図り、参加者数の安定を目指しつつ、運営団体の育成を図る。		
25 参考	スポーツ大会参加者数 (小中高校生対象)	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
		1050人	1047人	1014人	1245人	314人	1098人		😊
	年度ごとの到達目標値(P)	/							
年度ごとの達成(評価)	/								
事業内容(D)	<p>体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ◆スポーツ少年団やサークルの活動支援。 (生涯スポーツのきっかけとなる小中高校生を対象としたスポーツ大会の開催及び支援) ※H30はサッカー大会荒天中止</p>								
現状と課題(C)	野球、サッカー、相撲の大会を開催、または支援するほか、スポーツ振興委託事業として各種教室の開催を予定どおり実施できている。			今後に向けた具体的な取組(A)			現行大会について関係団体等を通じて周知を図り、参加者数の安定を目指しつつ、運営団体の育成を図る。		
26	こどもよさこい参加者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	他小学校との学習交流
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
		-	-	-	91人	98人	85人		😊
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	100人	100人	100人	100人	
年度ごとの達成(評価)	/	-	-	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B	
事業内容(D)	<p>◆高知県の一大イベントである「よさこい祭り」に参加することで、子どもたちに知識や経験を培う学習機会を持たすことを目的とし、保護者や地域間の繋がりの強化を図ることが目的であり、かつ他の小学校の子どもたちと一緒にチームを作り上げることで日頃感じない感覚や共存・共感の育成を図ることを大きな目標として実施している。</p>								
現状と課題(C)	参加者数が減少しており、衣装や地方車を工夫し参加者を増やしたい。スタッフについては、各団体や保護者が増え、徐々に地域のものとなってきている。 【課題】保護者の役割分担をより明確にし、今以上のスタッフ増員を実施したいと考えている。			今後に向けた具体的な取組(A)			よさこい祭り当日スタッフとして、保護者や地域の団体に依頼。練習時の見守りスタッフとしても協力依頼し、保護者や地域の団体が構成する組織に変更していく。		

27	ひとり親家庭医療費 助成利用者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	ひとり親家庭へのサポート 市民保険課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
	809人	832人	740人	700人	677人	664人		【設定根拠】	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	-	-	*
年度ごとの達成(評価)	/	*	*	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*	
事業内容(D)	<p>◆ひとり親家庭医療費助成事業:配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。 (参考) ◆児童扶養手当、母子家庭等自立支援事業(就労に結びつく資格を取得するための受講料や生活費の補助)がある。【全国一律】 ◆母子生活支援施設への入所委託事業がある。【全国一律】 ◆父または母と生活を共にしていない児童を養育している母子・父子家庭等の生活の安定と自立を助ける為の手当支給:DV被害者など児童のいる要保護者の入所支援・自立支援給付 ◆子育て短期ジョブステイ:子育てに疲れた時などに子どもを施設で預かり、保護者の精神面のフォローを行う。【全国一律】 ◆①ひとり親家庭医療費助成事業(保)②奨学資金貸与(学)③就学援助費支給(学)④特別支援教育修学奨励費(学)等に対し香南市寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。</p>								
現状と課題(C)	/			今後に向けた 具体的な取組(A)		福祉事務所と連携を取りながら、窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。			
28	児童生徒の肥満傾向率(小 学5年)	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進 学校教育課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
	12.34%	12.54%	10.74%	8.97%	11.00%	13.01%		【設定根拠】 全国体力運動能力調査 の平均値	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	12%以下	11.8%以下	11.5%以下	11.1%以下	11.1%以下	☹️
年度ごとの達成(評価)	/	-	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 体育の授業を改善する。【学】 運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>								
現状と課題(C)	目標値を達成できなかった。特定の原因を挙げるのは困難であるが、運動や食事など様々な要因が考えられる。食生活の改善や運動習慣の確立に向けた見直しが必要である。			今後に向けた 具体的な取組(A)		生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。 運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。 日常生活の中に体を動かす機会を設ける。			
29	児童生徒の肥満傾向率(中 学2年)	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進 学校教育課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
	10.55%	8.19%	8.46%	9.24%	11.60%	11.06%		【設定根拠】 全国体力運動能力調査 の平均値	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	9.5%以下	9.5%以下	9.5%以下	9.5%以下	9.5%以下	☹️
年度ごとの達成(評価)	/	-	A	A	B	4年間の達成度合 ⇒		B	
事業内容(D)	<p>◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催。 ・スポーツ少年団やサークルの活動支援。【生】 ・基本的な生活習慣の確立を推進する。【学】 ・体育の授業を改善する。【学】 ・運動への興味関心を高める活動を推進する。【学】</p>								
現状と課題(C)	目標値を達成できなかった。特定の原因を挙げるのは困難であるが、運動や食事など様々な要因が考えられる。食生活の改善や運動習慣の確立に向けた見直しが必要である。 学校関係者とも協議し、保健体育科での教科指導に加え、部活動を含めた生活習慣、運動習慣の確立を目指す。			今後に向けた 具体的な取組(A)		生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)の確立を目指し、さらに家庭との連携を図る。 運動量を確保した体育の授業の実施とともに、保健領域の学習内容も合わせて、指導の充実を図る。 日常生活の中に体を動かす機会を設ける。			

人生の期別	成年期(就業から子育て期)
基本方針	誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを産み育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進

30	健康診査受診者数 (20～39歳)	基準値	実績値					R1評価 (C)	健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		105人	143人	135人	112人	111人	50人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		110人	110人	110人	110人	110人	115人	健康増進計画
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒	A	
	事業内容(D)	<ul style="list-style-type: none"> 健康診査として集団健診で無料で実施中 健診受診者に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施。 							
	現状と課題(C)	若い世代にも健診を受診することの意義が理解されてきつつある。		今後に向けた具体的な取組(A)		若い世代から自分の健診状態を知り、健康への関心を高めることで、生活習慣の見直し及び生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげていく。			
31	社会参加のための外出支援サービス利用者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	香南市社会参加のための 外出支援サービス
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	福祉事務所
		7人	5人	7人	6人	6人	6人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		9人	9人	-	-	-	-	*
	年度ごとの達成(評価)		B	B	*	*	4年間の達成度合 ⇒	*	
	事業内容(D)	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1～3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するもののうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う) 							
	現状と課題(C)	障害の等級や程度のみを考慮した対象者数は約470人であるが、課税状況や他のサービスの利用状況等を鑑みると、対象者はさらに絞られると思われる。移送車両を用いた移動支援を必要としている心身障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。		今後に向けた具体的な取組(A)		事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者に柔軟な対応ができる事業運営に努める。			
32	健康チャレンジポイント チャレンジ者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	健康ポイント
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		-	-	-	7人	14人	5人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		-	-	-	10人	15人	15人	チャレンジ数 20歳以上40歳未満
	年度ごとの達成(評価)		-	-	-	A	4年間の達成度合 ⇒	A	
	事業内容(D)	<ul style="list-style-type: none"> 対象:高知家健康パスポート取得者 いきいきチャレンジ:血圧・運動・朝食の項目で1ヶ月間専用の用紙に記録してもらい、5ポイント付与 いきいきビッグチャレンジ:体重・禁煙・飲酒・間食の項目で各自目標を作成し、3ヶ月間の取り組みを記録してもらい、3ヶ月後に目標が達成していれば10ポイント付与、未達成でも記録用紙提出で5ポイント付与 健康パスポートへ10ポイントを貯めると、香南ギフトカタログで利用できる500円分のクーポン券を配布(年度内1人2000円上限) 							
	現状と課題(C)	全体の高知家健康パスポートの新規取得者は横ばいだが、この年代のチャレンジ者数の維持・増加には繋がっていない。他の年代に比べ時間的・精神的にゆとりがないのが現状。取得者については、健康チャレンジ事業に継続して取り組んでいる。		今後に向けた具体的な取組(A)		特定健診会場では、健康推進員に高知家健康パスポートのPR・チャレンジの参加呼びかけを行ってもらい、イベントや各種事業でもチャレンジポイント事業の紹介を行う。			

★目標 出会い・新しい家庭づくり支援の推進

	出合いの場の開催回数	基準値	実績値					R1評価 (C)	男女の出合いの場の提供・ 支援、婚活の推進・支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
33		-	-	3回	3回	2回	2回		【設定根拠】 市主催事業＋ 補助制度利用回数
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	3回	3回	3回	3回	3回	
	年度ごとの達成(評価)	/	-	A	A	B	4年間の達成度合 ⇒		
	事業内容(D)	<p>◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出合いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあい にこ家」が継続して活動中。 ◆市主催事業1回、補助制度利用としてイベント型事業1回と相談窓口型事業1回の計3回を目標とする。</p>							
	現状と課題(C)	市主催の事業1回と「よりあい にこ家」による結婚相談窓口での計2回を本年度も実施。補助事業である「よりあい にこ家」の活動の中で1組成婚。2年間の地道な活動から実績に結び付く良い事例も出てきた。これら継続的に行っている事業に加え、恋いめぐりあい応援事業の中のイベント型事業での活用に向け、補助金の周知や活用に向け市内団体と連携を図っていく必要がある。			今後に向けた 具体的な取組(A)		広報等による周知の強化や、市内の各団体に対し「高知で恋しよ!!応援サイト」の応援団への登録を推進することで、地域全体で出合いの場の提供に対する理解を深め、少子化対策への機運を高める。		
34		-	-	57人	179人	141人	53人		【設定根拠】 イベント型事業定員数及び 相談窓口型事業前年度実績
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	60人	60人	60人	200人	200人	
	年度ごとの達成(評価)	/	-	B	A	A	4年間の達成度合 ⇒		
	事業内容(D)	<p>◆市主催事業として、結婚を希望する人が、お付き合いのマナーなどを学ぶライフプランセミナー(婚活イベント)を実施する。 ◆香南市恋いめぐりあい応援事業として、①出合いにつながるイベントや交際力の向上等を目的としたセミナーを開催する「イベント型事業」、②結婚に関する相談に対応する「相談窓口型事業」に対し、個人・団体に10万円を限度に補助制度を設けて応援する。②についてはH29年度より「よりあい にこ家」が継続して活動中。 目標内訳:市主催事業20名、相談窓口型事業140名、イベント型事業40名</p>							
	現状と課題(C)	10月末実績:市主催婚活セミナー参加者16人 よりあい にこ家相談等対応者37人 ※R1.9月 1組成婚 セミナー、相談窓口と事業があるが、イベント型事業での参加者を増やすことで様々な未婚男女のニーズに応えられるようにすることが課題。また、よりあい にこ家の相談対応者数が減っている現状について、活動の周知不足の面もあると聞いており、今後は広報活動含め団体へのきめ細かなサポートも必要。			今後に向けた 具体的な取組(A)		市主催事業としては結婚を望む独身男女を対象に、婚活のためのスキルアップセミナーを実施予定。(内容は年度毎に検討。)また、「よりあい にこ家」による相談窓口型事業は継続中。補助金の活用を促し、申請団体には計画段階からサポートしていくことで市内団体との連携を図り、イベント数の増加やそれに伴う参加者数の増加に繋げていく。		
35		-	-	-	8件	11件	1件		【設定根拠】 補助金上限件数
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	20件	10件	10件	10件	
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	C	A	4年間の達成度合 ⇒		
	事業内容(D)	<p>◆下記条件全てに該当する新婚世帯を対象に、新生活に要した経費(住宅の購入経費、賃貸アパート契約時の諸経費、引っ越し経費等)に対して上限30万円を経済的に補助する。 新婚世帯条件 ①婚姻日における夫婦2人の年齢が34歳以下 ②直近の世帯所得合計金額が340万円未満 ③その他条件あり</p>							
	現状と課題(C)	広報への掲載や、市民保険課窓口でのチラシ配布に加え補助対象要件(住所、年齢等)を満たしている方に対して、個別案内(文書送付)を行ってきたがR1年度は件数が伸び悩んでいる。個人情報利用の観点から10月以降の個別案内に関しては窓口で同意が得られた方のみとなり、これまでより案内送付者が限定されるため新たな周知方法が必要となる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		婚姻届を受理する市民保健課と連携し周知を図るとともに、婚姻届提出者に実施中のアンケート回答者のうち同意が得られた方に個別案内を行っていく。また、市内の不動産業者に対し、店頭でのチラシ設置を依頼し、新婚世帯の引っ越し相談などがあつた場合に補助金の案内に協力してもらえらるようしていく。		

★目標 親と子ども・働く環境との両立支援の推進(妊産婦の安全で安心な環境づくりの推進)

	基準値	実績値						R1評価 (C)	妊産婦支援 健康対策課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
36	パパママ教室参加率	12.6%	14.3%	18.2%	11.5%	20.8%	19.6%	☺	【設定根拠】 子ども・子育て支援計画
	年度ごとの到達目標値(P)		12.6%	12.8%	13.0%	13.2%	13.4%		
	年度ごとの達成(評価)		A	A	B	A	4年間の達成度合 ⇒		A
	事業内容(D)	◆年に3回、妊娠中の生活、出産について、呼吸法、妊婦体操他、妊娠中と授乳期の食生活、妊娠中の歯の健康などを開催し、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援。また、妊婦同士の交流や、父親の役割を考える機会ともなり父親の育児参加の支援の場にもなっている。							
現状と課題(C)	1日1回コースから半日3回コースに変更。対象者のうち第一子出産予定者は46.9%で、そのうちの35.8%が参加している。夫の参加は67.9%である。			今後に向けた具体的な取組(A)			総合子育て支援センター移行後は半日コースを3回に変更して実施。内容も産後の妊婦体操・乳房ケアを入れて実施。来年度はアンケートを元により良いものに吟味していく。		
	基準値	実績値						R1評価 (C)	妊産婦支援 健康対策課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
37	母子健康手帳交付数	242人	230人	237人	231人	212人	115人	☹	【設定根拠】 香南市人口ビジョン
	年度ごとの到達目標値(P)		226人	229人	231人	234人	237人		
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	B	4年間の達成度合 ⇒		A
	事業内容(D)	◆母子健康手帳を健康対策課で交付している。他の配布物は、母子保健サービス一覧、各種パンフレット、一般健康診査受診票(妊婦14枚・乳児2枚)、新生児聴覚検査受診票							
現状と課題(C)	妊婦全員に面接することができており、妊娠・出産・育児に関する不安や困りごとに対する総合相談窓口として周知ができています。			今後に向けた具体的な取組(A)			健康対策課で妊婦全員に面接、交付を継続する。		

★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援

	基準値	実績値						R1評価 (C)	スポーツの推進 生涯学習課	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1			R2
38	生涯スポーツ教室の開催回数	165回	491回	630回	606回	541回	289回	☺	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画	
	年度ごとの到達目標値(P)		170回	170回	450回	450回	450回			460回
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
	事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。 (生涯スポーツの推進のため、こうなんスポーツクラブへの支援を行い、各種教室を開催。)								
現状と課題(C)	令和元年10月末現在289回、年度末には達成見込生涯スポーツ教室として継続実施できているが、その内容に関しては参加者の要望などを反映し、毎年見直しを行っている。			今後に向けた具体的な取組(A)			継続実施するが、その内容に関しては参加者の要望などを反映し、毎年見直しを行う。			
	基準値	実績値						R1評価 (C)	スポーツの推進 生涯学習課	
		H26	H27	H28	H29	H30	R1			R2
38 参考	生涯スポーツ教室の参加者数		3492人	4159人	5780人	3818人	1678人	☺	【設定根拠】 教育振興基本計画後期計画	
	年度ごとの到達目標値(P)									
	事業内容(D)	体力の増進、心の健康づくりに有効であるスポーツ活動の推進を図る。また、誰もが自分に合ったスポーツに親しめるようにスポーツ環境の充実を図る。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。 (生涯スポーツの推進のため、こうなんスポーツクラブへの支援を行い、各種教室を開催。)								
	現状と課題(C)	生涯スポーツ教室として継続実施できているが、その内容に関しては参加者の要望などを反映し、毎年見直しを行っている。			今後に向けた具体的な取組(A)			継続実施するが、その内容に関しては参加者の要望などを反映し、毎年見直しを行う。		

39	市長杯・教育長杯の開催数	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		8回	8回	9回	8回	8回	5回		【設定根拠】 教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの到達目標値(P)		-	-	8回	8回	8回	8回	
	年度ごとの達成(評価)		-	-	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A
事業内容(D)	◆参加者が競い合うことにより技能の一層の向上が期待できると認められる各種スポーツにおいて、参加者数など一定の大会規模を満たす大会に市長杯を付与することで、スポーツへの関心、参加者の増加、技能の向上などを図っている。								
現状と課題(C)	令和元年10月末現在5回、年度末には8回見込運営者や競技者の高齢化により大会の維持が難しくなっている競技種目もある。また、参加者数は年度により変動があるが、競技人口はいるので周知徹底し参加を促していく必要がある。※8大会参加者数は、H28:819人、H29:831人、H30:769人			今後に向けた具体的な取組(A)		ホームページへの掲載やロコミでの勧誘を行う。			
39	市長杯・教育長杯の参加者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		640人	534人	819人	831人	769人	547人		😊
	年度ごとの到達目標値(P)						590人	😊	
	事業内容(D)	◆参加者が競い合うことにより技能の一層の向上が期待できると認められる各種スポーツにおいて、参加者数など一定の大会規模を満たす大会に市長杯を付与することで、スポーツへの関心、参加者の増加、技能の向上などを図っている。							
現状と課題(C)	運営者や競技者の高齢化により大会の維持が難しくなっている競技種目もある。また、参加者数は年度により変動があるが、競技人口はいるので周知徹底し参加を促していく必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)		ホームページへの掲載やロコミでの勧誘を行う。			
40	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		64人	64人	71人	73人	79人	81人		😊
	年度ごとの到達目標値(P)		64人	66人	66人	66人	68人	68人	
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A
事業内容(D)	◆スポーツ少年団の育成指導にあたる「スポーツ少年団認定員」を増やしていくことで、技能の向上を図っていく。 ◆スポーツ教室及び各種スポーツ大会の開催や各種スポーツクラブの育成支援。								
現状と課題(C)	各団体に2名以上のスポーツ少年団認定員が必要で、その確保とあわせ、団員数が多い団体へは更に手厚く指導できる体制を構築していくため、認定員の資格取得を促す必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)		各団体へ講習会の情報を周知し、講習会への参加及び取得を促す。			
41	市美術展への出品者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	芸術・文化活動推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		R2
		207人	225人	204人	182人	210人	-		😐
	年度ごとの到達目標値(P)		230人	230人	230人	230人	230人	230人	
	年度ごとの達成(評価)		B	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B
事業内容(D)	◆文化協会、各種サークルの活動支援								
現状と課題(C)	令和元年10月末現在、周知案内準備中徐々に減少傾向にあり、市内外へのサークル等への働きかけを行う。 【取組】①過去出品者全員に対し出品依頼を行う。 ②部門の変更を行う。陶芸→工芸へ変更			今後に向けた具体的な取組(A)		市内外サークルへの働きかけを行う。 県内全域の高等学校以上の学校へ出品依頼を行い、周知活動を実施していく。			

	運動習慣(週2回) 20~39歳	基準値	実績値						R1評価 (C)	健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		健康対策課
42		-	-	-	14.3%	18.0%	10.0%		☹️	【設定根拠】 健康増進計画 30分以上/日を週2回 1年以上継続
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	34.0%	35.0%	20.0%	20.0%		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	C	C	4年間の達成度合 ⇒		C	
	事業内容(D)	◆健康診査の問診項目から把握している。(20~39歳)。 ◆健診受診者に対して各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)を実施。								
	現状と課題(C)	世代の運動習慣は、他の年代と比較すると低い状況にあり、理由は「時間がない」であった。運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。			今後に向けた具体的な取組(A)			・ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。健康パスポートを活用した運動の啓発。		

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

	DV相談窓口利用者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	DV相談窓口
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		人権課
43		2人	2人	1人	1人	0人	0人		*	【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	-	-		
	年度ごとの達成(評価)	/	*	*	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*	
	事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において、日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。								
	現状と課題(C)	赤岡・吉川市民館には支所があり、オープンにしたくない相談者が来づらい場合や、相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていく必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)			相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。利用者の意見も聞きながら相談窓口を香我美や野市など拡大していくことも今後検討する必要がある。そのため、今後は指標を利用者数から相談窓口数へ見直すことなど関係課と協議していく。		

	障害者虐待相談 対応・支援	基準値	実績値						R1評価 (C)	障害者支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		福祉事務所
44		0人	2人	2人	1人	1人			*	【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	-	-		
	年度ごとの達成(評価)	/	*	*	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*	
	事業内容(D)	◆障害者虐待の相談や通報などの受付、虐待の早期発見への取り組みとして、障害者虐待に関する窓口「香南市障害者虐待防止センター」を設置。(福祉事務所内) 障害者虐待を受けた方への迅速かつ適切な保護、そして障害者の養護者に対する支援を行い、障害者の権利侵害の防止に努める。								
	現状と課題(C)	香南市障害者虐待防止センターの周知と障害者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報・啓発の充実を図る。			今後に向けた具体的な取組(A)			障害者や障害児の虐待防止及びその早期発見・対応のため、虐待防止ネットワーク委員会等と関係機関との連絡調整を行い、支援体制の強化を図っていく。		

★目標 移住者ウェルカム支援の推進

	移住促進ホームページの アクセス回数	基準値	実績値						R1評価 (C)	移住促進事業
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		地域支援課
45		-	-	3,582回	49,825回	67,226回	32,460回		☹️	【設定根拠】 移住促進ホームページ のアクセス回数
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	300回	4,000回	5,000回	65,000回	65,000回		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
	事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 市の情報発信及び各課と連携した移住関連情報提供の強化を図る。								
	現状と課題(C)	移住専門HP「香南住む〜ず」のアクセス数は、昨年同時期と比較すると、減少している。HPでは、特に「住む」の空き家バンクを閲覧している方が多い中、今年度は登録件数が伸びておらず、更新回数が減少していることが大きな要因の一つと考えられる。			今後に向けた具体的な取組(A)			空き家バンクでいうと、既に登録されている物件についても掲載内容(写真等)を変更するなど、情報発信内容・方法を工夫していく必要あり。また、SNS(インスタグラム、Facebook)も積極的に活用していくとともに、他課とも密に連携をとることで、就職に関する情報等、多方面に渡る情報発信ができるよう努めていく。		

46	県外からの移住者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	移住促進事業
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		地域支援課
		3組	1組	6組	18組	29組	11組		☺ 【設定根拠】 人口ビジョン	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	2組	5組	10組	20組	20組		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住から定住、そして地域の活性化につなげるため、市移住相談窓口での相談業務のほか、高知県等が主催する県外移住相談会への参加、近隣市町村(高知市・香美市・南国市)との広域連携による県外相談会、移住ツアーを実施する。									
現状と課題(C)	移住専門相談員(臨時職員)の配置及び他課と連携した移住相談を受けることで、県外移住者が増加している。反面、移住相談において顔の見えない移住相談者への対応に苦慮しており、課題である。			今後に向けた 具体的な取組(A)			高知県等が主催する県外移住相談会への参加、高知・南国・香美・香南での広域連携事業のほか、関係人口や交流人口の拡大を図る事業展開により将来的な移住を掘り起こす。移住者交流会を行い、移住者からの意見などを集約し移住促進につなげる。			
47	空き家バンク登録数	基準値	実績値						R1評価 (C)	移住促進事業
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		地域支援課
		-	-	3件	18件	32件	37件		☺ 【設定根拠】 実績ベース+登録物件数推移	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	3件	5件	20件	40件	50件		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A	
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住者を受け入れるための市内空き家の活用を促進し、移住から定住、そして地域の活性化につなげる。									
現状と課題(C)	新規登録件数については、昨年度と比較すると減少。今年度は移住相談員による活用可能な空き家調査が実施できていないことも要因の一つと考えられる。登録物件については、改修が必要なものがほとんどであるため、移住希望者とのスムーズなマッチングにつながらないことが多い。			今後に向けた 具体的な取組(A)			地域と連携した空き家の掘り起こしに継続して取り組むとともに、空き家バンク及び補助金制度(※今年度より、賃貸物件についてはマッチング前でも補助金が活用できるよう改正)の周知にも努めていく。			
48	移住希望者向けお試し滞在住宅の稼働率(市管理)	基準値	実績値						R1評価 (C)	移住促進事業
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		地域支援課
		-	-	-	-	(78.6%)	66.2%		☺ 【設定根拠】 市の実績ベース (参考)県内各市町村(25市町村)が設置したお試し滞在住宅のH30平均稼働率:約38.0%	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	50.0%	65.0%		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	-	-	4年間の達成度合 ⇒		*	
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 移住希望者向けにお試し滞在住宅を設置し、香南市の風土や気候・暮らしを体験してもらうことで、移住への不安を解消する短期滞在施設としての利用促進に取り組む。									
現状と課題(C)	平成29年12月より香我美町西川地区の「お試し滞在住宅」の供用を開始。移住希望者に利用(最長3ヵ月)してもらうことで、本市への移住の入口として役割を果たしている。平成30年度末までに4組6名が利用し、2組3名が本市への移住を達成した。R1年度の利用実績は、10月末現在にて2組2名(1名は利用中)。低料金の宿泊施設として利用を希望する相談者もいるため、相談と受入体制を作ることが課題である。			今後に向けた 具体的な取組(A)			一人でも多くの移住検討者に利用してもらうために、県外移住相談会等できちんと移住相談を受けたうえで、香南暮らしの体験施設をPRし利用促進を図る。			
49	地域おこし協力隊の隊員数	基準値	実績値						R1評価 (C)	移住促進事業
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		地域支援課
		-	-	-	3人	8人	11人		☺ 【設定根拠】 昨年度実績ベース	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	2人	9人	10人	10人		
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	A	B	4年間の達成度合 ⇒		B	
事業内容(D)	◆移住・定住促進による新たな定住者の確保と地域の活性化を図る。 10月末現在、地域おこし協力隊員10名と集落支援員1名の計11名が活躍しており、隊員の中には空き家バンクに登録されている物件に住んでいる者もあり、空き家の活用にも繋がっている。また、多方面で活躍しており、地域ともつながりが増えてきたことで、地域の活性化にも繋がっている。									
現状と課題(C)	10月末現在:地域支援課2名(移住相談員1名、岸本集落支援員1名)、総務課1名(ふるさと納税)、商工水産課2名(サイクリスト1名、地域活性・特産品開発1名)、農林課5名(鳥獣ハンター1名、6次産業化1名、農業担い手候補生(みかん)2名、農業担い手研修生1名)、生涯学習課1名(マリンスポーツ推進)の計11名が活動中。			今後に向けた 具体的な取組(A)			今後も、移住相談会等でのPRや個別対応を行いながら、市HP、県HP、JOINやSNSでも積極的にPR採用に繋げる。必要に応じて、地域おこし協力隊単独の相談会への参加を検討していく。市のホームページや県ホームページ、関係機関との連携強化や地域おこし協力隊員10名と集落支援員1名でSNS等の情報発信を行い仲間づくりなど積極的にPRを行う。			

人生の期別	熟年期(人生が充実する時)
基本方針	にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

★目標 いきいきと健やかな人に優しいまちづくりの推進									
50	特定健診受診率 40～64歳	基準値	実績値					R1評価 (C)	特定健診・健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		-	-	-	29.9%	23.6%	9.30%		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	30.0%	30.0%	42.0%	45.0%	健康増進計画
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B
事業内容(D)	◆特定健診:集団健診と医療機関での個別健診を実施。 ・国保被保険者の40歳から74歳を対象に無料で実施。 ・人間ドック費用の助成有。 ・がん検診とのセット健診、休日健診も実施。 ・肝炎検査も同時実施(集団検診で検査未実施者に対して無料で実施)								
現状と課題(C)	目標値を国の目標値にしているが、大きな隔りがある。受診促進にむけ、セット健診や休日健診の実施により利便性の向上を図る。		今後に向けた具体的な取組(A)		・健診受診により身体の状態を知ることで、内臓脂肪の要因となる生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげる。 ・地区組織による健診の受診勧奨。健康パスポートを活用した受診勧奨。				
51	メタボリックシンドローム 該当者割合 (男性) 40～74歳	基準値	実績値					R1評価 (C)	特定健診・健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		-	-	-	27.9%	31.4%	32.2%		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	30%以下	30%以下	30%以下	30%以下	健康増進計画
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	A	B	4年間の達成度合 ⇒		B
事業内容(D)	特定健診結果から把握している。 ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施								
現状と課題(C)	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。生活習慣をみると、就寝前の夕食、飲酒量や間食の頻度が高い状況であった。		今後に向けた具体的な取組(A)		・特定健診の受診勧奨及びメタボリックシンドローム該当者への生活習慣改善に向けた保健指導の実施(訪問、各種教室関係)。				
52	メタボリックシンドローム 該当者割合 (女性) 40～74歳	基準値	実績値					R1評価 (C)	特定健診・健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		-	-	-	13.2%	15.5%	14.6%		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	13%以下	13%以下	13%以下	13%以下	健康増進計画
	年度ごとの達成(評価)	/	-	-	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B
事業内容(D)	特定健診結果から把握している。 ◆健診受診に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施								
現状と課題(C)	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者割合は、男女ともに県や全国と比較すると高い。生活習慣をみると、就寝前の夕食、飲酒量や間食の頻度が高い状況であった。		今後に向けた具体的な取組(A)		・特定健診の受診勧奨及びメタボリックシンドローム該当者への生活習慣改善に向けた保健指導の実施(訪問、各種教室関係)。				

	睡眠で休養がとれている割合 40～74歳	基準値		実績値				R1評価 (C)	このころの健康づくり 健康対策課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
53		-	-	-	70.0%	71.0%	70.8%	☹️	【設定根拠】 自殺対策計画
	年度ごとの到達目標値(P)	△	-	-	75.0%	75.0%	75.0%		
	年度ごとの達成(評価)	△	-	-	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B
	事業内容(D)	◆特定健診の問診結果から把握 ◆住民一人ひとりが自殺の要因となることと体の健康や自殺に対する正しい知識を持ち、自殺予防のための大切な行動、「気づき」「つなぎ」「見守り」ができるように、民生委員定例会で情報交換等を実施するとともに、健診会場やイベントでの広報等普及啓発を図る。							
	現状と課題(C)	睡眠で休養がとれている割合は、県や全国と比較すると低い状況にある。睡眠時間だけではことと体の健康は計れない面もあるが、これも一つのバロメーターという認識を広める必要がある。		今後に向けた 具体的な取組(A)		平成29年度に自殺対策計画を立案し、計画に基づいて事業を実施している。市民向けのイベントやセミナー、組織や団体に対する研修会等の機会を利用し、市民に啓発していく。			
	健康チャレンジポイント チャレンジ者数	基準値		実績値				R1評価 (C)	健康ポイント 健康対策課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
54		-	-	-	82人	110人	40人	😊	【設定根拠】 チャレンジ者数 40歳以上65歳未満
	年度ごとの到達目標値(P)	△	-	-	-	70人	70人		
	年度ごとの達成(評価)	△	-	-	-	A	4年間の達成度合 ⇒		A
	事業内容(D)	◆対象：高知家健康パスポート取得者 ◆いきいきチャレンジ：血圧・運動・朝食の項目で1ヶ月間専用の用紙に記録してもらい、5ポイント付与 ◆いきいきビッグチャレンジ：体重・禁煙・飲酒・間食の項目で各自目標を作成し、3ヶ月間の取り組みを記録してもらう。3ヶ月後に目標が達成していれば10ポイント付与、未達成でも記録用紙提出で5ポイント付与 ◆健康パスポートへ10ポイントを貯めると、香南ギフトカタログで利用できる500円分のクーポン券を配布(年度内1人2,000円上限)							
	現状と課題(C)	全体の高知家健康パスポートの新規取得者は横ばい。徐々に健康に対する意識も高まる世代であり、チャレンジ者数も一定数を維持できている。取得者については、健康チャレンジ事業に継続して取り組んでいる。		今後に向けた 具体的な取組(A)		特定健診会場では、健康推進員に高知家健康パスポートのPR・チャレンジの参加呼びかけを行ってもらう。イベントや各種事業でもチャレンジポイント事業の紹介を行う。			
★目標 生きがいを感じられ参画できる地域社会の形成支援									
	ボランティア登録者数	基準値		実績値				R1評価 (C)	地域ボランティア活動支援 生涯学習課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
55		87人	103人	124人	135人	115人	121人	😊	【設定根拠】 教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの到達目標値(P)	△	100人	100人	100人	100人	100人		
	年度ごとの達成(評価)	△	A	A	A	A	4年間の達成度合 ⇒		A
	事業内容(D)	◆本の読み聞かせグループの活動支援をしている。 ◆ボランティア(図書館クラブ)の保育所・幼稚園への読み聞かせ活動を支援している。 ◆活動補助及び読書ボランティア講座を開催し後継者の育成を図る。【市単独】 ◆生涯学習人材バンク登録 様々な分野において豊富な経験や資格を持っている市民や団体の情報を「人材バンク」に登録し、市民の生涯学習活動や学校活動における教育活動等を支援するために、指導者やボランティアとして紹介する制度。							
	現状と課題(C)	R1年10月末現在 人材バンク 28人 読書ボランティア 93人 関係団体への制度やボランティアの趣旨説明を行い、会員の増員は図られているが、住民からの事業依頼が少ない。		今後に向けた 具体的な取組(A)		依頼内容等の住民向けの広報活動(ボランティアの内容などを含め広報やHPでの周知)をはじめ、この制度や活動内容の周知を継続して実施していく。			
	運動習慣(週2回) 40～74歳	基準値		実績値				R1評価 (C)	特定健診・健康診査 健康対策課
		H26	H27	H28	H29	H30	R1		
56		-	-	-	36.6%	38.6%	39.6%	☹️	【設定根拠】 健康増進計画 30分以上/日を週2回 1年以上継続
	年度ごとの到達目標値(P)	△	-	-	43.0%	43.0%	43.0%		
	年度ごとの達成(評価)	△	-	-	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B
	事業内容(D)	◆特定健診の問診項目から把握している。 ◆特定健診受診者に対して各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施。							
	現状と課題(C)	年代で見ると、40～50代の運動習慣が低い状況にあり、理由は「時間がない」であった。運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。		今後に向けた 具体的な取組(A)		ウォーキング事業の推進。 運動や生活習慣に関する広報、講演会、講習会や運動教室の実施。 健康パスポートを活用した運動習慣の啓発。			

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

	DV相談窓口利用者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	家庭内暴力・DV相談室
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		人権課
57		2人	2人	2人	1人	0人	1人		*	【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	-	-		
	年度ごとの達成(評価)	/	*	*	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*	
	事業内容(D)	◆生活全般に関わる相談業務を人権課及び赤岡・吉川両市民館において、日々行っており、家庭内暴力・DV相談を含めた相談等があれば関係機関(市:福祉事務所、教育委員会、住宅管財課、その他:警察、女性センター等)と連携し対応している。								
	現状と課題(C)	赤岡・吉川市民館には支所があり、オープンにしたい相談者が来づらい場合や、相談者が知っている人だと相談しにくい面もあると考えられる。相談しやすい窓口・相談体制にしていける必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)		相談者は、玄関を使わず別の入り口を使うなど配慮をする必要がある。利用者の意見も聞きながら相談窓口を香我美や野市など拡大していくことも今後検討する必要がある。そのため、今後は指標を利用者数から相談窓口数へ見直すことなど関係課と協議していく。			
58	社会参加のための外出支援サービス利用者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	香南市社会参加のための外出支援サービス
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		福祉事務所
		7人	5人	7人	6人	6人	6人		*	【設定根拠】 第5期障害福祉計画
	年度ごとの到達目標値(P)	/	9人	9人	-	-	-	-		
年度ごとの達成(評価)	/	B	B	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*		
	事業内容(D)	◆身体障害者を移送用車両で送迎し、社会参加のための外出支援を行う。(肢体不自由の身体障害者手帳1～3級又は療育手帳のA1、A2又は精神保健福祉手帳の1級に該当するものうち、市民税非課税且つ病院や施設等に入院・入所していないものを対象に移動支援を行う)								
	現状と課題(C)	障害の等級や程度のみを考慮した対象者数は約470人であるが、課税状況や他のサービスの利用状況等を鑑みると、対象者はさらに絞られると思われる。移送車両を用いた移動支援を必要としている心身障害者のサービス利用を促進するよう、体制を確保し整える必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)		事業の普及啓発を継続すると共に、社会参加や外出支援の利用目的や方法を検討し、利用者に柔軟な対応ができる事業運営に努める。			
59	福祉医療費助成事業利用者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	香南市福祉医療費助成事業(障害者)
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		福祉事務所
		786人	791人	794人	796人	750人	748人		*	【設定根拠】 障害福祉計画見込み量参考
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	-	-	-		
年度ごとの達成(評価)	/	*	*	*	*	4年間の達成度合 ⇒		*		
	事業内容(D)	◆保険給付対象医療費の自己負担額の全額助成。(身体障害者手帳1～3級又は療育手帳を取得した人の健康保険適用分の自己負担金を助成)								
	現状と課題(C)	福祉医療費助成の対象者は手帳取得や所得要件が関係するため、対象者の把握は一律には難しいが、医療機関や窓口にて制度の紹介や利用支援を行い、必要な医療を受けられる体制を継続し整える必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)		中度の心身障害者の保健の向上と福祉の増進を図る中で事業の普及啓発を継続する。			

人生の期別	高齢期(第二の人生のスタート)
基本方針	健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

★目標 健康で長生きできる環境づくりの推進									
60	特定健診受診率 (65歳～74歳)	基準値	実績値					R1評価 (C)	特定健診・健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	健康対策課
		44.5%	48.4%	41.1%	45.8%	35.4%	14.0%		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		50.0%	55.0%	50.0%	50.0%	42.0%	45.0%	特定健康診査実施計画
	年度ごとの達成(評価)		B	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒	B	
	事業内容(D)	◆特定健診:集団健診と医療機関での個別健診(75歳以上は健康診査として実施/無料、人間ドック費用の助成)、生活保護受給者も受診可能/無料 ◆健診受診者に対して各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施。							
	現状と課題(C)	他の年代と比べ60代からは健診受診率は高い傾向にあるが、目標値には届いていない。セット健診や休日健診の実施により利便性の向上を図る。			今後に向けた具体的な取組(A)		・健診受診により身体の状態を知ることで、内臓脂肪の要因となる生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげる。 ・地区組織による健診の受診勧奨。 ・健康パスポートを活用した受診勧奨。		
61	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	介護予防事業
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	高齢者介護課
		214人	239人	246人	73人	86人	26人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		220人	250人	250人	250人	90人	100人	高齢者福祉計画
	年度ごとの達成(評価)		A	B	C	C	4年間の達成度合 ⇒	C	
	事業内容(D)	◆①お通者教室:介護予防メニュー(運動・栄養・口腔・認知症予防・閉じこもり予防等)を組み合わせた複合的プログラムを市内4会場で高齢者に提供する。 ②いきいきクラブ:食生活改善推進員による口腔機能向上教室を開催する。(年間3～6地区) 平成26年度(夜須2地区・吉川2地区)、平成27年度(香我美3地区・脳健康教室)、平成28年度(香我美5地区)、平成29年度(野市3地区)、平成30年度(野市6地区)、平成31年度(野市3地区)							
	現状と課題(C)	食生活改善推進員による市内全域での実施を目標に、H23年度より旧町ごとに順次開催。実施する会場の規模により実績が増減するため、目標には達していない。年度末までに実施予定があるため、概ね順調とした。			今後に向けた具体的な取組(A)		食生活改善推進員よりいきいきクラブやお通者教室等へ口腔機能向上や栄養教室等を開催する。		
62	パークゴルフ・ベタンク参加者数	基準値	実績値					R1評価 (C)	軽スポーツの推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	生涯学習課
		155人	132人	122人	135人	155人	44人		【設定根拠】
	年度ごとの到達目標値(P)		-	150人	155人	160人	165人	170人	教育振興基本計画 後期計画
	年度ごとの達成(評価)		-	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒	B	
	事業内容(D)	◆激しい運動ができない世代に健康増進や交流を目的にベタンク、パークゴルフ、ゲートボール等の軽スポーツを推進する。							
	現状と課題(C)	R1年10月末現在 パークゴルフのみ44名 ※ベタンクは2月予定 実行委員会から愛好者団体への呼びかけを行っているが、高齢化が進みゲートボール大会は中止となった。			今後に向けた具体的な取組(A)		大会案内の広報掲載のほか、各種愛好団体から直接愛好者への呼びかけを行い、競技人口の維持拡大を図る。		

63	運動習慣(週2回) 40~74歳	基準値	実績値						R1評価 (C)	特定健診・健康診査
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		健康対策課
	-	-	-	36.6%	38.6%	39.6%			【設定根拠】 健康増進計画 30分以上/日を週2回 1年以上継続	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	43.0%	43.0%	43.0%	43.0%		
年度ごとの達成(評価)	/	-	-	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B		
64	事業内容(D)	◆特定健診の問診項目から把握。 ◆健診受診者に対して、各種健康教室(健診結果説明会・生活習慣病予防教室・運動教室・家庭血圧測定指導・健康相談等)の実施。								
	現状と課題(C)	60代からは運動習慣のある割合が高い傾向にある。運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。			今後に向けた 具体的な取組(A)		・ウォーキング事業の推進。 ・広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。 ・健康パスポートを活用した運動習慣の啓発。			
65	健康チャレンジポイント チャレンジ者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	健康ポイント
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		健康対策課
	-	-	-	107人	151人	81人			【設定根拠】 チャレンジ数 65歳以上	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	-	-	-	110人	110人	110人		
年度ごとの達成(評価)	/	-	-	-	A	4年間の達成度合 ⇒		A		
66	事業内容(D)	◆対象:高知家健康パスポート取得者 ◆いきいきチャレンジ:血圧・運動・朝食の項目で1ヶ月間専用の用紙に記録してもらい、5ポイント付与 ◆いきいきビッグチャレンジ:体重・禁煙・飲酒・間食の項目で各自目標を作成し、3ヶ月間の取り組みを記録してもらう。3ヶ月後に目標が達成していれば10ポイント付与、未達成でも記録用紙提出で5ポイント付与 ◆健康パスポートへ10ポイントを貯めると、香南ギフトカタログで利用できる500円分のクーポン券を配布(年度内1人2000円上限)								
	現状と課題(C)	全体の高知家健康パスポートの新規取得者は横ばい。年代的に時間にもゆとりが出てくるためチャレンジ者数も他の年代に比べ多くなっている。前年度並みの推移となっており目標値は達成見込み。取得者については、健康チャレンジ事業に継続して取り組んでいる。			今後に向けた 具体的な取組(A)		特定健診会場では、健康推進員に高知家健康パスポートのPR・チャレンジの参加呼びかけを行ってもらう。イベントや各種事業でもチャレンジポイント事業の紹介を行う。			
★目標 世代間交流を楽しみ生活文化の伝承ができる地域社会づくりの推進										
65	風揚げ・交流事業 参加者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	三世代交流イベント推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		生涯学習課
	1,177人	1,132人	1,073人	1,150人	1,300人	178人			【設定根拠】 青少年育成会議施策	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	1,150人	1,150人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人		
年度ごとの達成(評価)	/	B	B	B	A	4年間の達成度合 ⇒		B		
66	事業内容(D)	◆青少年育成事業として三世代交流風揚げ大会・三世代交流事業等を開催している。 ◆地域密着型の三世代交流により、地域活性化を推進する。								
	現状と課題(C)	風揚げ:R2年1月開催予定 三世代交流事業:R1年9月実施(178人) 事業が天候に左右される。また、開催日、内容を検討することも必要。 【H30年度】風揚げ大会1,000人 交流事業(科学の実験)300人			今後に向けた 具体的な取組(A)		学校行事や他の行事等との兼ね合いを配慮し日程調整しながら、また新たにInstagramなどを活用し引き続きPRをすすめる。			
66	町民運動会参加団体数	基準値	実績値						R1評価 (C)	三世代交流イベント推進
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		生涯学習課
	37団体	41団体	36団体	39団体	38団体	32団体			【設定根拠】 体育協会の事業計画	
	年度ごとの到達目標値(P)	/	41団体	41団体	42団体	42団体	43団体	43団体		
年度ごとの達成(評価)	/	A	B	B	B	4年間の達成度合 ⇒		B		
66	事業内容(D)	◆各町において自治会等への参加を促し、町民運動会を開催している。 ◆地域密着型の三世代交流により、地域活性化を推進する。 参考:連合参加の団体や野市地区では自主グループでの参加もあるが、自治会ベースに想定すると45団体程度が参加上限。								
	現状と課題(C)	参加者が確保できないなどチームを構成できない地区は連合団体として参加している地域もある。参加団体数維持及び増加のため、自治会等への案内送付など呼びかけを行う。			今後に向けた 具体的な取組(A)		広報やHPへの掲載、個別に案内状送付などを行い呼びかけを行う。			

★目標 親・子・孫で支える地域社会づくりの推進

67	在宅介護手当・介護用品支給利用者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	高齢者の生活支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		高齢者介護課
		20人	25人	35人	29人	25人	29人			☺
	年度ごとの到達目標値(P)		25人	25人	25人	25人	25人	25人		
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	A		4年間の達成度合 ⇒	A	
	事業内容(D)	◆①緊急通報体制整備事業(独居高齢者等に緊急通報装置を貸与し、安否確認や急病等に対応) ②軽度生活援助事業(掃除や買い物等の家事援助サービス)③日常生活用具給付事業 (シルバーカー購入について補助)④医療機関送迎サービス事業(医療機関への送迎に対するタクシー代の助成) ◆①在宅介護手当支給事業 ②介護用品支給事業 在宅で介護している方に、介護負担の軽減となるよう介護用品の支給や、介護手当の支給を行いその労に報いるとともに家族の絆を深めることを目的とする。								
	現状と課題(C)	R1年10月末現在 ①在宅介護29人 ②介護用品30人で 両制度利用の29人を実績値に計上。介護対象者と介護者それぞれの課税状況が支給対象の要件にあるため対象者全体の把握は困難であるが、要介護3~5の方はケアマネージャーが関わっているため、必要な方には対応してくれており、対応漏れがないようにケアマネ連絡会等で情報提供をしている。			今後に向けた具体的な取組(A)			新規認定者の制度利用につながるよう市内ケアマネージャーへの周知のため7月のケアマネ連絡会への出席。介護者に対しての周知のため年に一度、高齢者福祉事業について広報に掲載する。		

68	ボランティア参加者数(延)	基準値	実績値						R1評価 (C)	介護ボランティアポイント制度
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		高齢者介護課
		-	628人	711人	758人	710人	265人			☹
	年度ごとの到達目標値(P)		620人	645人	670人	760人	760人	880人		
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	B		4年間の達成度合 ⇒	A	
	事業内容(D)	◆高齢者の生きがいづくりや地域での支え合い・助け合いを目的に、65歳以上の方が、市の指定を受けた介護施設や介護予防事業等でボランティアを行った場合にポイントを付与し、そのポイントに応じて香南市ギフトカタログの商品と交換できる事業。								
	現状と課題(C)	ボランティアの受入施設側の担当者が交代することで、実績の報告やポイントの付与が行えていない場合もあり、運用の周知が十分にできていない。今後は適切なコーディネートや新たなボランティアの発掘が課題となっている。制度の運用については社会福祉協議会にあるボランティアセンターとの連携が不可欠なため、定期的に協議を行い進めていく。			今後に向けた具体的な取組(A)			65歳到達者への介護保険証の配布時に、制度紹介のチラシを同封する。活動者と受入れ側との交流会を引き続き行い、マッチングを推進する。		

★目標 配慮が必要な人、誰もが安心して生活ができる地域社会の形成支援

69	認知症サポーター養成講座受講者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	認知症に対するサポート
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		高齢者介護課
		424人	390人	188人	441人	268人	151人			☹
	年度ごとの到達目標値(P)		150人	150人	150人	450人	270人	270人		
	年度ごとの達成(評価)		A	A	A	B		4年間の達成度合 ⇒	A	
	事業内容(D)	◆地域で認知症の方や家族を支援する見守り・支え合いの体制づくりを推進することを目的とした地域包括支援センターでの相談対応、認知症サポーター養成講座の開催、認知症高齢者を考える会への協力や認知症の講演会等の開催。								
	現状と課題(C)	養成講座は12年目であり、10月現在で累計3,229名が受講している。今後も地域での見守り体制づくりのために事業所等地域に向けて事業の周知をしていく。また、受講後活動できるキャラバンメイトの固定化が課題となっている。			今後に向けた具体的な取組(A)			小中学校や職域へのサポーター養成講座を継続する。非活動キャラバンメイトへの活動の働きかけを行う。		

70	認知症カフェ参加者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	認知症に対するサポート
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		高齢者介護課
		-	47人	76人	499人	447人	236人		☹️	【設定根拠】 高齢者福祉計画
	年度ごとの到達目標値(P)	/	50人	50人	50人	550人	450人	450人		
	年度ごとの達成(評価)	/	B	A	A	B	4年間の達成度合 ⇒	A		
	事業内容(D)	◆認知症の方やご家族等が、参加できる憩いの場として開催。知識の普及や介護負担の軽減を図る。								
	現状と課題(C)	直営と委託で3カ所実施。直営カフェにはケアマネジャーの参加もあり周知に努めているが、参加メンバーの高齢化や固定化が課題となっている。			今後に向けた具体的な取組(A)		ケアマネジャーや社会福祉協議会、民生委員協議会等の関係機関と連携し、新たな参加者の拡大に向けて事業の普及啓発を実施する。			

★目標 地域での支え合いがあり、香南市に住んでよかったと思える環境づくりの推進

71	いきいきクラブ事業参加者数(延)	基準値	実績値						R1評価 (C)	高齢者の自主活動支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		高齢者介護課
		5,732人	5,665人	5,642人	5,591人	5,592人	2,500人		☹️	【設定根拠】 高齢者福祉計画
	年度ごとの到達目標値(P)	/	5,700人	5,700人	5,700人	5,700人	5,700人	5,800人		
	年度ごとの達成(評価)	/	B	A	B	B	4年間の達成度合 ⇒	B		
	事業内容(D)	◆地域同士の情報交換や交流による主体的な活動とボランティア等人材育成、研修会の開催等により、介護予防の取り組みへの理解を深め、高齢者を地域で支える仕組みづくりを支援することを目的に実施。①いきいきクラブ事業(地域の高齢者の介護予防活動サークルへの支援)②自主グループ運動支援事業(地域の高齢者運動サークルの活動支援)③高齢者クラブ助成事業の実施。								
	現状と課題(C)	開催地区は増えているが、お世話係の高齢化もあり、活動の継続と受け皿づくりが課題となっている。中間評価としては例年とおりの進捗であり、年度末には達成見込みである。			今後に向けた具体的な取組(A)		開催地区の運営支援の継続と新規地区立上げへの支援、地区代表者やボランティアを対象とした研修会を開催する。			

72	シルバー人材センター登録者数	基準値	実績値						R1評価 (C)	定年後の再就職支援
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		高齢者介護課
		244人	255人	263人	228人	218人	218人		☹️	【設定根拠】 高齢者福祉計画
	年度ごとの到達目標値(P)	/	255人	255人	259人	264人	269人	274人		
	年度ごとの達成(評価)	/	A	A	B	B	4年間の達成度合 ⇒	B		
	事業内容(D)	◆高齢者が経験を活かせる就労を確保し、生きがいを持って活動できる場としてシルバー人材センターが設置されており、活動の周知を行い、新規会員獲得の取り組みを支援する。併せて市からの委託事業の開拓等の支援を行う。								
	現状と課題(C)	近年、65～70歳といった年齢が現役で仕事をしているのが現状であり、入会してもハローワークで給料の良い仕事が見つかると辞めてしまう。広報へのチラシの積み込み、シルバー人材センターとの共同で研修を開催したが、会員数は微減となっている。周知と研修は継続する必要がある。			今後に向けた具体的な取組(A)		新規会員の確保に繋がるように、シルバー人材センターの周知の支援を行う。			